

サイバーセキュリティ関連情報（8月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

○ 宅配便の不在通知を装うフィッシングが急増！

宅配便の不在通知を装い、金融機関等のフィッシングサイトへ誘導するショートメッセージ（SMS）の報告が全国的に増えており、県内においても相談が相次いでいます。

お荷物のお届けにありがとうございました
不在の為持ち帰りました。ご確認ください。
[http://\[redacted\].duckdns.org](http://[redacted].duckdns.org)

↑ 偽のショートメールの例

←このようなショートメールを受信した場合には、リンクを開かず無視または削除して下さい。もしも、リンクを開いてしまった場合、auじぶん銀行等を装った偽サイトに誘導されてしまいます。

↓このような偽サイトの画面が表示された場合、パスワード等の認証情報や個人情報

は絶対に入力しないよう注意して下さい。



↑ auじぶん銀行の正規サイトと偽サイト（フィッシングサイト）の比較

参考：フィッシング対策協議会HP https://www.antiphishing.jp/news/alert/fuzaiSMS_20200709.html

○ ネットバンキング不正送金被害が急増！

令和2年の上半期における全国のインターネットバンキングに係る不正送金事犯の発生状況について、**発生件数は869件、被害額は約4億9,400万円**（いずれも暫定値）で、令和元年の上半期と比較して、発生件数は686件増加、被害額は約3億2,800万円増加していることが警察庁の調査で明らかとなりました。

利用権者へ事情聴取ができた384件のうち、手口が**フィッシングによる被害**と思われるものが**329件（85.7%）**で、その内訳として、**SMSによるもの251件（76.3%）、Eメールによるもの73件（22.2%）、不明のもの5件（1.5%）**となっている。

フィッシングによる被害の金融機関別の内訳は、**三菱UFJ銀行が113件（34.3%）、ゆうちょ銀行が81件（24.6%）、ジャパンネット銀行が43件（13.1%）**等となっています。

令和元年中における県内のインターネットバンキング不正送金被害はありませんでしたが、本年上半期は、既に**ゆうちょ銀行2件、ジャパンネット銀行1件**の合計3件の被害が発生しています。

被害手口の大半は、携帯電話機で受信したSMSによるフィッシングによるものです。

金融機関や宅配業者等からのSMSやEメールを受信しても、窓口の担当者と直接、電話で確認したり、メールのリンク先からではなく、公式ホームページに直接アクセスして確認して下さい。また、パソコン、スマートフォンにウイルス対策ソフトや二段階認証の導入など多層防御を行い、セキュリティ対策にも努めて下さい。